

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	ベビーシッター研修事業		担当部局	雇用均等・児童家庭局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	保育課		橋本 泰宏		
会計区分	年金特別会計 (子どものための金銭の給付勘定)		政策・施策名	VI-2-3 保育所の受入児童数を拡大するとともに、多様なニーズに対応できる保育サービスを確保すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童手当法第29条の2		関係する計画、通知等	ベビーシッター研修事業費の国庫補助について(厚生労働事務次官通知 平成21.3.27厚生労働省発雇児第0327004号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3程度以内)	ベビーシッター事業者やベビーシッターに従事する者に対し、研修を実施することで資質向上及び児童の健全育成を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーシッター事業者及びベビーシッターに従事する者に対する研修及びベビーシッターの普及啓発業務 ・補助率:定額(10/10相当) ・補助先:公益社団法人全国保育サービス協会 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	41	41	37	37	33	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	41	41	37	37			
	執行額	41	41	37				
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、資質向上及び児童の健全育成を図るものであるため、成果指標を設定することが困難である。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ベビーシッター研修実施回数		活動実績 (当初見込み)		13 (13)	13 (13)	11 (11)	- (11)
			算出根拠	(H24実績) 37百万円(執行額)÷11回(研修回数)÷3,364千円 ※普及啓発業務に関する経費を含む				
単位当たりコスト	3,364千円(研修1回あたり) ※普及啓発業務に関する経費を含む							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	事業費	28	24	印刷製本費の見直しによる減				
	事務費	9	9					
	計	37	33					

事業所管部局による点検						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、深夜や休日の保育ニーズに対応するために従事するベビーシッターや事業者の質の向上を図る事業であり、もって児童の健全育成を図る事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	ベビーシッターの質や児童の育成に地域差が生じないようにするため、国の補助事業としている。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	全国保育サービス協会は、法人目的を「すべての子どもと子育て家庭の良質な育成環境を保障することのできる社会の実現に寄与すること」としており、ベビーシッターや事業者の研修事業に関する知識を持っており、全国的に協会加盟会社を有するなどベビーシッターの質や児童の育成に地域差が生じないよう実施できるベビーシッター事業者からなる全国的な法人であることから、全国保育サービス協会を選定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	研修受講者に研修受講料の負担は求めていないが、研修先への旅費などは実費負担を求めている。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	事業に必要な人件費、教材費等といった必要経費のみである。 平成26年度要求は印刷製本費を見直し、コストの削減を図った。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	補助対象は、事業に必要な人件費、教材費等といった必要経費のみである。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見合った活動実績となっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	当該事業について、平成24年度は当初見込みの11回に対し同数の実績があり、各点検項目による評価も概ね妥当と考えられる。今後も、児童の健全育成及び資質向上を図るために、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	本事業については、支出対象の限定・重点化の観点から事業内容等の見直しを図るべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	印刷物の部数見直しによる縮減					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	863	平成23年	769	平成24年	677

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 37百万円

〔 交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導監督等 〕



【補助】

A 全国保育サービス協会(1) 37百万円

〔 ベビーシッター研修事業の実施 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.全国保育サービス協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	研修を実施するための会場借上やリーフレット作成等の事業を実施するための経費	28			
事務費	消耗品や備品の購入等の事務経費に係る経費	9			
計		37	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国保育サービス協会	ベビーシッター事業者及びベビーシッターへの研修や普及の実施	37		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					